

平成17年10月21日

各位

東京都港区元赤坂一丁目5番8号
株式会社 WOWOW
代表取締役社長 廣瀬 敏雄
(コード番号: 4839)
問合せ先 IR広報局長 高見澤尚樹
TEL 03(5414)8090

業績予想の修正および特別損失の計上について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年8月1日に公表しました平成18年3月期中間期および通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成18年3月期中間業績予想の修正(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

(1) 単 体

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表数値(A)	30,800	1,400	1,500	600
今回修正数値(B)	30,700	1,600	1,700	700
増減額(B-A)	100	200	200	100
増減率(%)	0.3%	14.3%	13.3%	16.7%
(ご参考)前年中間期実績 (平成17年3月期)	30,951	373	384	407

(2) 連 結

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表数値(A)	32,200	1,400	900	700
今回修正数値(B)	31,900	1,600	800	500
増減額(B-A)	300	200	100	200
増減率(%)	0.9%	14.3%	11.1%	28.6%
(ご参考)前年中間期実績 (平成17年3月期)	31,471	73	223	442

2. 平成18年3月期通期業績予想の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

(1) 単体 (単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表数値(A)	63,900	3,400	3,700	2,600
今回修正数値(B)	63,000	2,100	2,300	800
増減額(B-A)	900	1,300	1,400	1,800
増減率(%)	1.4%	38.2%	37.8%	69.2%
(ご参考)前期実績 (平成17年3月期)	62,508	2,599	2,343	2,030

(2) 連結 (単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表数値(A)	66,900	3,400	3,100	2,700
今回修正数値(B)	65,600	2,200	1,600	1,200
増減額(B-A)	1,300	1,200	1,500	1,500
増減率(%)	1.9%	35.3%	48.4%	55.6%
(ご参考)前期実績 (平成17年3月期)	63,900	3,086	2,665	2,203

3. 修正の理由

(1) 中間期

単体業績につきましては、累計正味加入者数が予想を下回って推移したことにより、営業収益が若干減少しましたが、ほぼ前回予想の通りとなりました。一方、加入連動コストの減少およびその他経費の圧縮により、営業利益、経常利益は前回予想を上回る見込みです。当期純利益につきましては、下記特別損失の計上を見込み、上記1.表(1)の通り修正いたします。

連結業績につきましては、単体と同様の理由に加え、経常利益、当期純利益につきましては、持分法適用会社の(株)CS-WOWOWが前年度に実施したトランスポンダ（衛星の中継器）の返却による解除料が確定し、新たに追加の費用が発生したため、上記1.表(2)の通り修正いたします。

(2) 通期

単体業績につきましては、通期での累計正味加入者数を当初計画通りに見込んでおりますが、上期での加入者数の計画未達による視聴料収入の減少を取り戻すまでには至らないこと、また付帯事業収入が見通しを下回ることにより、営業収益が前回予想より減少する見込みです。一方、営業利益、経常利益につきましては、前述の営業収益の減少による利益減に加え、下期に累計正味加入者数の増加を目論み、販促宣伝および番組強化等に費用を投下すること、当期純利益につきましては、下記特別損失の計上を見込み、上記2.表(1)の通り修正いたします。

連結業績につきましては、単体と同様の理由に加え、連結子会社の(株)ワウワウ・コミュニケーションズ(テレマーケティング事業)の営業収益が前回見通しを下回る見込みとなりますが、費用の圧縮等を見込み、上記2.表(2)の通り修正いたします。

4. 特別損失の計上

平成17年8月1日に公表しました特別損失の計上に加え、下記の通り追加計上する見込みです。

(1) 中間期

本年9月末のBSデジタルラジオ放送の終了に伴い、関連放送設備を減損処理(68百万円、連結、単体とも)し、特別損失に計上いたします。

(2) 通期

中間期の要因に加え、上記中間期連結業績の修正理由にあります(株)CS-WOWOWのトランスポンダ解除料の追加計上に伴う引当計上(270百万円、単体のみ)により、特別損失を計上する見込みです。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上